

## 目標達成計画

作成日: 平成 24年 3月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	本人の希望はもちろんであるが、家族の意向などの把握が不十分なことがある。面会時などを活用して積極的に意見交換し、プランに反映させる必要がある。特に、面会の少ない家族への働きかけの強化が課題である。	本人・家族の意向を十分に把握できるよう努める。そして、それらをプランにきちんと反映させる。	面会時等を利用して家族の意向・要望の把握に努める。入居者の状況をこまめに伝達し、グループホームでの本人の生活に関心を高めていただくとともに、本人のこれまでの生活についても情報を頂き、ケアの中に取り入れる。	12ヶ月
2	12	重度化・終末期についての個別の話し合いはなされていない。これからのことについて、家族とも話し合いの機会を持つ必要がある。	重度化に向けて、一緒に考える機会を持ち、思いの確認ができるよう努める。	開所から1年が経過し、信頼関係が少しずつ深まってきた。面会時や情報提供の機会を利用し、今後についての意向確認すすめていきたい。	12ヶ月
3	13	防災訓練時、地域の方の参加を呼びかけていない。また、備蓄品については不十分である。	災害対策について、地域もまき込んで考えていく。	避難訓練は定期的実施しており、今後も継続する。地域の方にも参加を呼びかけ、協力していただく。備蓄品については、不足のものを考え、災害時に少しでも役立つよう整えたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。